○近畿大学短期大学部学則

昭和25年４月１日
令和８年４月１日改正

別記（１）

近畿大学短期大学部教育方針
（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

短期大学部では、本学の「教育の目的」と「建学の精神」に基づいたカリキュラムを通して、ビジネスパーソンとして社会に求められ、貢献できる人材を育成します。そして、以下に示す水準に達した学生に対して、短期大学士（経営学）の学位を授与します。

１　ビジネス社会で必要となる汎用的能力（教養、知識、思考力、スキル）を修得している。

２　キャリアデザインが求められる社会的背景を理解するとともに、キャリアデザインに関する基本的な知識やスキルを修得している。

３　経営学・商学・経済学を中心に、その関連分野を含めた専門分野の基礎的知識、スキルを修得し、ビジネス社会において活用できる。

４　個人的及び社会的責任感をもち、文化や社会が多様であることに理解を深めるとともに、多様な人々と協働できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

短期大学部では、ディプロマ・ポリシーに示した水準に着実に到達できるよう、カリキュラムを編成しています。カリキュラムを共通教養科目、外国語科目、専門科目Ⅰ及び専門科目Ⅱの４つの科目分類に体系的に編成し、カリキュラムの体系と科目内容の段階を示すナンバリングとカリキュラム・ツリーを整備します。

また、シラバスにおいて各科目の到達目標、学修内容、成績評価の方法を明示します。

各科目分類の教育内容、教育方法は以下のとおりです。

＜共通教養科目＞

共通教養科目では、ディプロマ・ポリシーに掲げる汎用的能力とキャリアデザインを身につける上で必要となる学修スキルを修得します。また、それらの能力を身につける上で求められる社会・文化・自然に対する理解を深め、多角的な視点を身につけます。これらについてアクティブラーニングを取り入れた少人数教育により身につけます。

＜外国語科目＞

外国語科目では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・スキルを身につける上で必要となり、また、文化や社会の多様性への理解と多様な人々との協働に必要となる基本的な英語力を修得します。習熟度に基づく少人数クラスでの学修と定期的に実施される外部テスト等による進捗度の確認を通して、学修進度に即したコミュニカティブな英語力を身につけます。また、英語以外の科目により多様な文化や考え方に触れ、視野を拡げます。

＜専門科目Ⅰ＞

専門科目Ⅰでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる経営学・商学・経済学を中心に、関連分野を含めた専門分野の基礎的知識を身につける上で必要となる知識やスキルを修得します。これらについてアクティブラーニングを取り入れた少人数教育により学修することで、ビジネスパーソンとして必要な知識と能力を修得することができます。

＜専門科目Ⅱ＞

専門科目Ⅱでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる専門分野の知識・スキルを修得し、活用できる能力を身につける上で必要となる基礎理論の理解を深めるとともに、企業活動や経済社会情勢の理解に不可欠なスキルを修得します。これらについてアクティブラーニング、グループディスカッションを取り入れた少人数教育により学ぶことで、ビジネス社会への適応力を高めます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

短期大学部での学修に向けて、学位授与の方針を踏まえ、そのカリキュラムのもとで学修する意欲を持ち、学修に必要な以下のような基礎的な知識、能力を身につけていることが望まれます。このような学修意欲や知識・能力を有する人を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

国語：日本語の文章を読み、理解する能力・論理的思考に基づいて運用する能力

外国語：英語を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションに必要な基礎的な知識
地理歴史・公民：社会の成り立ちや動きに関する知識
数学：データの処理・解釈に必要な数学的知識と計算能力
特別活動：自主的行動力、協調的姿勢、コミュニケーション能力、奉仕の精神
　なお、短期大学部に入学するまでに、求められる必要な基礎的知識を身につけるため、入学前教育を修了することを求めます。
別記（２）

近畿大学短期大学部の教育・研究の目的について

【近畿大学学園の「建学の精神」と「教育の目的」】
　近畿大学学園の建学の精神は、「実学教育と人格の陶冶」です。この建学の精神を具体的に実践するために「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的に掲げています。
　この建学の精神と教育の目的に基づいて、「広い教養に裏打ちされた人格とチャレンジ精神をもって未来を志向しつつ、実践的学問すなわち実学の発展に貢献することのできる人材を育成」して、社会に送り出すことに全力で取り組んでいます。
　本学の各学部・大学院及び各学校は、それぞれの人材育成目標に沿って、特色あるカリキュラムを用意し、充実した教授陣が、質の高い教育を提供しています。
　学生の皆さんには、上記の建学の精神と教育の目的を理解していただき、本学園で、本当に優れた友人・先輩・教員や夢中になれる学問に出会い、美しいものに打たれ、豊かな教養と専門的知識を身につけ、各人固有の才能を見出し、自分に最もふさわしい将来設計をされることを願っています。
【短期大学部の教育研究の理念と目的、育成する人材像】
　短期大学部では、昭和25年の創設以来、人格の陶冶と実学精神の教育理念のもとに社会に有為な人材を大勢送り出しています。常に、「広い教養、良識と常識にチャレンジする精神をもち、そして実践的な学問、実学を旨とする」という教育理念を念頭に置き、全人教育と実学教育のもとに「未完の大器である学生たちの向学心を育み、来るべき次世代を担う志高い人格に導く」ことを目指しています。
　そのため、時代を見据え、時代を生き抜き、次の時代を読み取ることの重要性に鑑み、その時代が最も必要とし実際に役に立つ学問こそ真の実学であると考え、「時代が求める実学」を重要視しています。
　しかし、今日の社会変化は大きく、成熟化・グローバル化・高度情報化・少子高齢化社会の到来など大いなる「歴史的転換期」に直面し、それに伴い若者のライフスタイルも変わってきました。
　短期大学部では、実学こそが今の時代を読み、さらに時代を先取りする知識と素養を身につけさせるものであると確信し、このような時代の多様な要請に柔軟に応え、常に教育内容・カリキュラムを改善するように努め、個性的で斬新な教育環境作りを行っています。
　いつの時代においても、それぞれの時代において、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成すること」を目標とし、それを「時代が求める実学」として具現化することに最大限の努力をしています。
【短期大学部の学修・教育目標】
　大学教育が目指すところは人格形成と専門知識の教授にあります。短期大学部においては、全人教育および実学教育のもとに、それぞれの時代における専門知識を修得し、より高度な知識へと発展させつつ、人間的な面で社会から受け入れられ、自力で生き抜くための素養を培うことを第一義としています。
　そのため、短期大学部は経営学、経済学、商学を基本として、幅広い種々の関連分野にまたがる学科目を開講し、それぞれ理論・歴史・政策などの側面から体系的に知識を修得し得る教育を展開しています。いずれの学科目においても、複雑かつ変化の激しい社会経済現象の根底をなす原理・原則に重点をおき、その本質を究めた上で、歴史・政策を教授し、将来における変化を予見し対応できる能力を培うことを目指しています。
　また、演習を通じて教員と学生、学生同士のふれあいを深め、専門知識をより深めると共に、積極的な学びの姿勢の育成と人格形成に資する教育を行っています。
　このように、短期大学部の教育目的・教育目標は、短期大学部の教育理念たる「時代が求める実学」を根底におき、時代を生き抜くための知識と素養を培い、21世紀を生き抜くための実学を基本とした

専門知識を身につけさせ、さらに「受け身だけでなく、人を愛する人、人を信頼し、尊敬する人という心豊かな人間を育成すること」を教育の目標としています。
短期大学部のカリキュラム編成上の特色
時代を生き抜くための知識と素養を効果的に育成するために、少人数制による参加型授業を重視しています。多様なライフスタイルの学生のニーズに応えて、昼夜開講制と昼夜２本立ての時間割を導入し、３時限から７時限までの授業を自由に履修できるようにし、多くの学修機会を提供するように配慮しています。このカリキュラムの導入により、専門科目のなかでもクラス編成を採用している学科目では１クラス20名程度の少人数クラス構成が実現し、人材育成に大いなる効果が期待できる環境になりました。
さらに、人材育成の目的が達成されるか否かはカリキュラムによるところが大であると考え、基礎演習および演習を除く全学科目を選択科目としたセメスター制を導入し、学科目選択の自由度を上げています。同時に、無計画な単位取得を避け、豊富な専門科目を効率良く学修できるように望ましい履修モデルを提示しています。また、情報管理コース、秘書（ビジネス）コース、英語コミュニケーションコースを設けて実践的かつ系統的履修へ誘導するとともに、希望者には司書課程、教職課程も開設しています。
一方、補習授業として、不足している基礎的知識を強化する基礎学習講座（２講座）、実践的応用を短期間に修得する目的と情報処理取得を目指すための実践ＩＴ講座（３講座）、４年制学部編入に備えた編入対策講座（４講座）を開設し、学生各自の将来計画に応じた教育を徹底しています。
【その他の特色】
幅広い外国語教育の充実と外国語による会話力や国際感覚の修得を促すためのカリキュラム改正を行い、実用英語教育を強化します。また、中国語科目と韓国語科目を新設しました。
近畿大学の総合大学としてのスケールメリットを生かした他学部開講科目受講制度（法学部、経済学部、経営学部、理工学部、文芸学部）を導入。また、通信教育部との単位互換制度も導入しています。
企業人による理論と実践の融合を図るために、企業等の現場で実績をあげている方々を非常勤講師等として招き、実践的な視座からの講義を展開しています。